

オオタバコガの発生に注意してください！

フェロモントラップへの誘殺数が多く推移しています。
圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底してください。

[現在の発生状況]

- ① 9月上旬現在、フェロモントラップへの雄成虫の誘殺数は、水戸市、龍ヶ崎市(図)、筑西市(図)、結城市(結城地域農業改良普及センター調べ)で平年より多く、多発年と同様の傾向で推移している。また、土浦市では平年よりやや多い。
- ② 8月下旬現在、大豆において被害を確認している。また、9月上旬現在、トマトにおいて被害を確認している。
- ③ 気象予報(9月9日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か少ないと予想され、発生を助長する条件である。

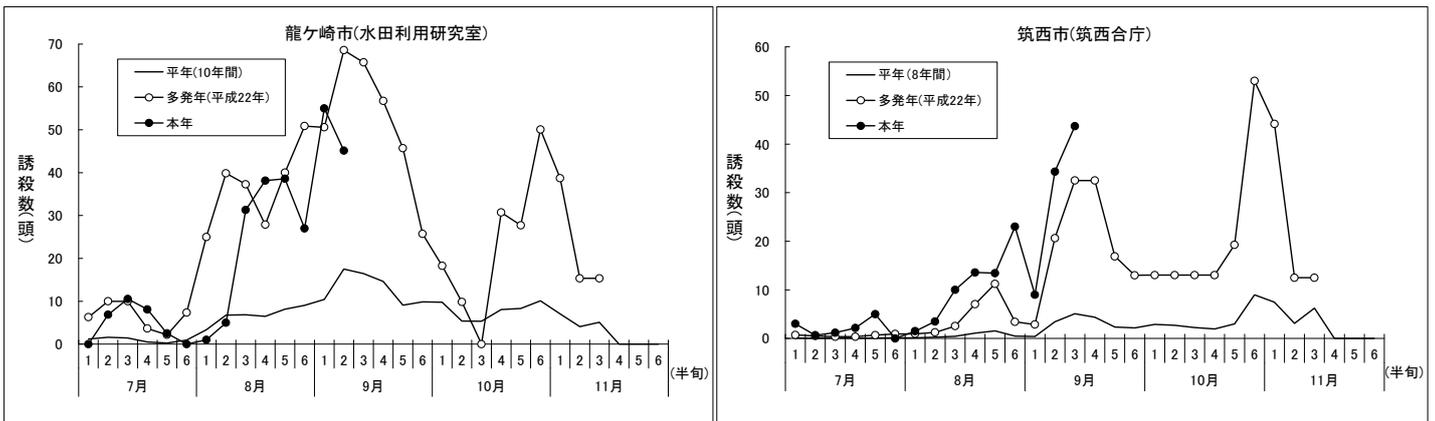


図 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況

[防除対策]

- ① 広食性の害虫のため、野菜類、花き類、大豆等を加害するので注意する。
- ② 幼虫の齢期が進むにしたがって薬剤の殺虫効果は低くなるため、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底する(防除薬剤は表を参照)。
- ③ レタス、ハクサイ等では、結球内に幼虫が食入するとその後の防除が困難になるため、発生初期及び結球始期以降の防除を徹底する。
- ④ レタスでは、被害を未然に防ぐために薬剤の育苗トレイ灌注が有効である。
- ⑤ 抑制トマトや抑制ピーマン等では、収穫終期まで加害を続けるので、発生しているハウスでは防除を徹底する。
- ⑥ 施設栽培では、ハウスの開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入防止に努める。
- ⑦ 薬剤散布は、薬液が葉裏や株元等、株全体によくかかるよう丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、系統の異なる薬剤を散布する。

表 オオタバコガに登録のある主な薬剤（平成23年9月7日現在）

系統名	薬剤名	レタス	非結球レタス	ハクサイ	キャベツ	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	イチゴ	キク
ジアミド系	フェニックス顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	プレバソン	○	○		○	○	○	○			○
	フロアブル5	○									
マクロライド系	アニキ乳剤	○		○	○	○	○	○		○	○
	アフーム乳剤	○	○			○	○	○	○	○	○
	スピノエース顆粒水和剤	○	○			○		○	○		○
I G R	アタブロン乳剤					○	○	○	○		
	ファルコンフロアブル	○	○		○	○		○	○	○	
	マッチ乳剤	○				○	○	○	○		
B T	エスマルク DF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	デルフィン顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	アクセルフロアブル				○						○
	コテツフロアブル	○	○		○	○	○	○	○		○
	トルネードフロアブル	○	○			○		○	○		
	プレオフロアブル	○		○	○	○	○	○	○	○	○

※ 農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用方法・回数・注意事項等を確認のうえ使用して下さい。

また、薬剤散布の際は、周辺作物等への飛散（ドリフト）に十分注意してください。

[参考]オオタバコガの幼虫(体色は淡緑～褐色と個体差が大きい)

